

ギリシャの大地からわたしのカラダへ  
自分の神話を発見しよう  
～デルフィ芸術フェスティバル～

オリンピックはスポーツだけではないー歴史的芸術の祭典、デルフィ芸術フェスティバルが2500年ぶりに復活する。

デルフィ市とイサドラ・ダンカン国際学校(NY) (以下 IDII) (<http://www.isadoraduncan.net/>) の共催によるこの祭典は、インタラクティブな参加型。内容は舞踊・音楽・ストーリーテリング・詩歌などのパフォーマンス、世界レベルのアーティストによる集中ワークショップ(イサドラ・ダンカン・テクニク)、ギリシャ哲学・神話学の講演、そして参加者と共に当地の神話を体現する、サイト・スペシフィックなフェスティバルなど多岐に渡る。また、デルフィ市の多大な援助により、充実の内容にも関わらずコストダウンを実現。観光ツアーにはみられない魅力の一つである。

ソクラテスやオイディプス王などの歴史的人物をはじめ、世界中の人々が決断の前にその神託を求めた場所、デルフィ。神殿にある「汝自身を知れ」の言葉どおり、多くの人々が「本当の自分に出会う」ために訪れたこの聖地が、一般の人々に開放されるのは実に 2500 年ぶり。観光ではアクセス不可能な場所で得られるユニークな体験は、混迷する社会に生きる人間にとってのガイドの一つになりえるのではないだろうか。

【開催地】デルフィ(ギリシャ)

【日程】2005年6月3日(金)ー13日(月)

(フェスティバル期間:6月4日ー11日)

【パネラー】

Panagiotis Kaltsis(デルフィ市長)

Michael Meade(神話学者)

Jeanne Bresciani, Ph.D.(IDII・次ページ)

Galatea Psonis(ギリシャ詩人)



【参加対象】

行動に責任を持てる方。人生を積極的に楽しむ情熱のある方。

日本参加者定員:15名 (関空/羽田出発可能)

日本参加者コーディネーター: 佐藤 道代 (舞踊家・IIDII 日本大使・次ページ)

<http://home.att.ne.jp/alpha/idance/jp.htm>

参加費用: ¥315,000(参加費、2食付き宿泊、開催地交通費、往復航空券含む。空港使用料・税、保険等除く)

お問合せ: [delphicg@zat.att.ne.jp](mailto:delphicg@zat.att.ne.jp) 090-4410-4646 申し込み締め切り:2005年4月14日

## ジーン・ブレスiani **Jeanne Bresciani**

*M.A., M.A., I.M.A., Ph D* イサドラ・ダンカン国際学校 芸術監督

米国スキドモア大学卒業後、ウィリアムズ大学にて美術館学と芸術史の修士号を得た後、ニューヨーク大学よりダンス教育修士号、哲学の博士号を得る。動きの分析とイメージ精神療法の I.M.A. 修士号を持つ。1987年にマリア=テレサ・ダンカンの創立したイサドラ・ダンカン国際学校をレジデンス・アーティストとして引き継ぎ、芸術、教育部の監督となる『子供のためのイサドラ』『大人のためのイサドラ』のプログラムを、Y92 丁目のホークネス・センターに設立し、NYU、米国内と海外などで教える。

## 佐藤 道代 **Michiyo Sato**

*M.A., I.D.M.A.*, イサドラ・ダンカン国際学校 日本大使

津田塾大学国際関係学科卒業後、ロータリー財団奨学生としてNY 大学大学院に留学、ダンス教育学学科から学科長賞「ダンス教育への特別な専心」賞と共に修士号を授与される。イサドラ・ダンカン国際学校教員免許を得て日本で教える他、振付師としては 2004 年夏 NY ジョイス・ソーホーにて津田梅子と女工に関する作品「Silk and Ume Blossoming to the Women of Japan」を発表、連日満席の観客より好評を得る。

## イサドラ・ダンカン **Isadora Duncan**

1877年サンフランシスコ生まれ。20世紀の黎明期に西欧社会を一斉風靡した舞踊家。自然と古代ギリシャ世界にインスピレーションを受け、新しい舞踊を確立、後にモダン・ダンスの母と呼ばれる。『内的感情が動きを生む』という前提が、モダン・ダンスがバレエと考えを違にすることで、心理学の発達する二十世紀に、まさにその予言者であるかのように、ダンカンは「精神表現が身体のあらゆる経路を通じて流出する源」みぞおち(太陽神経叢と呼ばれる場所)から動きを紡ぎ出し、自然や神話のイメージを感情と関連させて踊った。そして偉大な作曲家達、ベートーベン、ショパン、シューベルト、ワーグナー等の音楽を、感情を触

発する源として使った作品を創作。これはそれまでの舞踊からは考えられない手法であり、同時代の舞踊家に多大なる影響を与え、大きな反響を呼んだ。彼女の影響は、舞踊だけに留まらず、彫刻家のブールデル、ロダン等同時代の画家、演劇人のスタニスラフスキー、詩人のコクトー、進化論者のヘッケルなど、様々な芸術家や知識人がこぞって賞賛し、自分達の作品や研究へのインスピレーションにしていることから裏付けられる。また、きついコルセットを脱ぎ捨て、裸足で簡素なチュニックを着て踊り、女性の解放を身体から示した点で、女性学上も重要な人物である。

